

1 総論

- アフリカの潜在性が世界の成長の原動力。「**人への投資**」が一層重要。
- 多国間主義の重要性。国連憲章を含む国際法及び全ての国の**主権と領土の一体性の尊重**の原則の下で協働。国際法に従って**紛争の平和的解決**を追求すべきことを強調。
- **自由で開かれたインド太平洋（FOIP）**のビジョンに好意的に留意。

2 概要

（1）経済：持続可能な経済成長と発展のための構造転換の実現

- 民間投資、技術移転、産業人材育成。**スタートアップ**中心の社会課題解決型ビジネス。
- グリーン経済促進。エネルギーの公正な移行に向けた取組。**アフリカ・グリーン成長イニシアティブ**の推進。
- 食料安全保障・栄養の改善。持続的な農業。食料システム及びバリューチェーンの支援。
- 自由で開かれ、かつ公正な国際経済システムの強化。**国際ルール・スタンダードを遵守した健全な開発金融**。
- 質の高いインフラ投資、連結性とアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）、ブルーエコノミー。

（2）社会：強靱かつ持続可能な社会の構築

- 人間の安全保障の実現とSDGs達成に向けた強靱で持続可能な社会の構築の必要性。
- **UHC実現**に向け保健分野での取組促進。日本によるCOVAXを通じた新型コロナ・ワクチンやグローバルファンドを通じた三大感染症等支援への謝意。

（3）平和と安定：持続可能な平和と安定の実現

- 民主主義、良い統治、法の支配。国際法の原則に基づく海洋秩序の維持。
- **核兵器のない世界の実現に向けたコミットメント**を再確認。NPTの維持・強化にコミット。
- **ウクライナ**（深刻な懸念、対話による平和解決、食料・エネルギー価格高騰対策等）
- **安保理改革**（アフリカの立場の支持再確認、右を念頭に、安保理改革加速のための協力を確認）

（4）今後のTICADプロセス

TICAD9は2025年に日本で開催。閣僚会合は**2024年**に開催。